

SHOWA Vill

昭和村

からむし織とカスミソウの里

ゆったりとした季節の巡りに

寄り添いながら

軽やかに朗らかに

毎日を暮らす人々は

小さくてもあたたかな温もりに

包まれる幸せを

そつとあなたに教えてくれます。

大人も子供も心遊ぶ、昭和村

只見川の支流、野尻川の流域に広がる昭和村は、
湿原や溪谷など自然美の宝庫。
人の手が守り伝えた「からむし織」や
生活の知恵が作り出した「編み組細工」などには、
作り手の、使う人を思いやる心が込められています。
訪れる人それぞれの、
たくさんの素敵な「とっておき」が見つかる場所。
それが「昭和村」です。





INDEX

類まれな織物があります [からむし織]	3
昭和村で「つくる」「学ぶ」「体験」	7
ノスタルジックな木造校舎があなたと昭和村を繋ぐ [喰丸小] ...	8
豊かな自然へ [自然・アウトドア]	9
百年先もカスミソウを作り続ける村でありたい [カスミソウ] ...	11
昭和村のお土産	12
食べる [食べ処]	13
泊まる [宿泊]	15
昭和村マップ [フォトスポット・イベント]	17

類いまれな
織物があります。

からむし織
とは？

■芋績み

作りたい糸の太さに合わせて繊維を裂き、毛羽立ったり、つなぎ目が太くならないよう縋り合わせ繋いでいく、根気と熟練を要する手技。

「からむし」は芋麻ちよまとも呼ばれるイラクサ科の多年草で、上布用の原材料として昭和村で栽培が続けられています。畑で栽培されたからむしの茎から取り出された繊維は青芋あおそとも呼ばれ、昭和村の「からむし織」のほか、越後上布や小千谷縮の原料に使われています。

植物繊維が原料の「からむし織」は、通気性・吸湿性に富み、織り上げられた布は軽く丈夫で、その涼しい着心地は一度経験すると他の織物を着ることができないと言われるほど。特に上質のものは「上納布」「上布」と呼ばれ重用されてきました。



初夏の風をまとうように軽く、
大地から湧き出る水のように涼やかに。
純朴な手と心が作りだす極上の衣

栽培の歴史

■大正時代のからむし引きの様子

昭和村のからむしは越後上布の原料に用いられ、江戸時代には険しい八十里峠を越えて小千谷地方の商人が買付に来ていました。

高冷地で雪が多く農作物の生産には厳しい昭和村で、からむし生産は、貴重な現金収入をもたらし、村に暮らす人々の生活を支えて、手から手へと技が受け継がれてきました。明治中期には年間生産量約6トンを記録しましたが、第二次世界大戦以後からむし畑は作物畑へと転作され、化学繊維の普及などの影響から、栽培・生産は激減しました。しかし、村の努力に支えられ、「織り・生産技術」が福島県の重要無形文化財に指定。平成3年には「からむし生産・からむし引き」が国選定保存技術に選定され、国の重要な伝統文化産業の一つとなっています。平成29年には、伝統的工芸品として「奥会津昭和からむし織」が指定されました。



昭和村の 四季が育くむ糸

からむし繊維



■道の駅 からむし織の里しょうわ 織姫交流館 tel.0241-58-1655

昭和村の豊かな自然が育み人の手から手へ受け継がれてきた、
からむし織や伝統工芸品、物産品を展示販売するほか、
からむし織の体験が出来る実習室を完備。

■開館時間／午前9時～午後5時

■休館日／4～11月(無休)・12～3月

(不定休 ※道の駅 からむし織の里しょうわfacebookで確認できます)

<https://www.facebook.com/karamushiiori/>



高齢化が進むからむし生産
と織の技術者の技を受け継ぐ
人材育成のため、平成6年か
らスタートした「織姫制度」。
からむし織に興味のある若者
を全国から募集するこの制度
は、村内で共同生活をしながら
約11ヶ月間、からむしの栽培
から織りまでの研修を受け、
からむし織の技術を学ぶもので
す。第一期生の織姫として
昭和村にやってきた舟木さん
は、からむし織の研修を通して
代々受け継いできた技術を
伝える「人」の魅力に惹かれ、
自らもそうありたいと感じ、
からむし織の技術後継者として
研修終了後も村に留まりま
した。現在では、昭和村に魅
了された織姫たちによって、
からむし織の伝統の技と心が
受け継がれています。

織 姫 の む ら



5月／からむし焼き

からむしの発芽をそろえて成長が均一になるようにするため、二十四節気の小満の日からむし焼きを行います。病害虫の発生を抑える目的もあります。



7月～8月／刈り取り

からむしの収穫は7月下旬から8月上旬にかけて行われます。手作業で一本ずつ刈り取り、選別し、葉を落とした茎を規定の長さに切り揃えます。その後、冷たい清水に浸します。



7月～8月／からむし剥ぎ

数時間から一晩ほど清水に浸した茎からていねいに皮を剥いていきます。剥いた皮を乾燥から防ぎ、青水(青汁)を抜くため再び清水に浸します。



11月～／からむし織り

作られた糸は昔ながらの地機(じばた)や高機(たかばた)にかけられ手織りされます。織目の整った帯や反物を織り上げるには、熟練の技術が必要です。



11月～／芋績み(おうみ)

からむし引きで取り出された繊維を糸の太さにあわせて裂き、繊維を繋ぎあわせます。非常に根気のいる作業で、冬中行われます。繋いだら全体に糸車(いとくるま)でよりをかけて糸が完成します。



7月～8月／からむし引き

芋引き具で、剥いた皮の外皮を除き、からむしの繊維を取り出します。取り出した繊維は、2日程度陰干しして乾かします。

イベント

昭和村では、四季折々の伝統文化や農産物などの魅力を楽しめる交流イベントを開催。さまざまな体験や地元の味わいを楽しむ多くの人で賑わいます。

からむし織の里フェア

[7月下旬]



この時期しか見られないからむし引きや、芋績み・撚りかけ・地機の織り実演のほか、着物ショー・芸能ステージなど楽しい催し目押しです。「からむし畑」や丁寧に育てられている「カスミソウ畑」を見学できるツアーも開催しています。

からむし織の里雪まつり

[2月下旬]



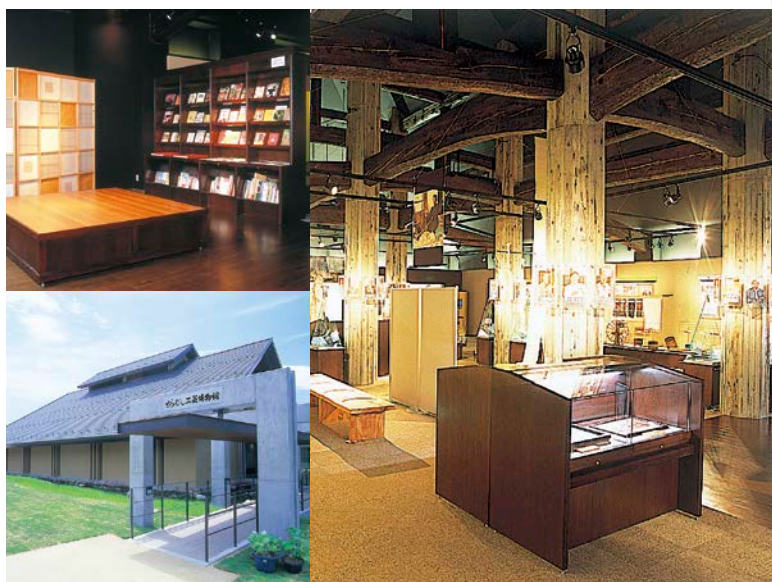
伝統行事の団子さしに始まり、餅つき大会・今では滅多に見ることができなくなったからむし織の雪ざらし実演・スノーモービル体験などができます。雪の昭和村の風情をお楽しみください。

■道の駅 からむし織の里しょうわ からむし芸博物館 tel.0241-58-1677

縄文の時代から人に利用されてきた植物繊維「からむし」「麻」の栽培に関する歴史資料や生産用具、様々な織物などを展示説明しているほか、ビデオ・ライブラリーコーナーも併設。毎年、企画展も開催しています。

■開館時間／午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで

■休館日／4～11月(無休)・12～3月(不定休) ■有料



ものづくり体験

昭和村で

「つくる」「学ぶ」

生活に密着したもののづくりへ体験

豊かな自然に囲まれた昭和村では、農作業や家庭で使うザルやカゴなど、ちょっとした日用の道具なら各家庭で手づくりして使いた。マタタビやヒロロなどの材料も自分達で山から調達し、冬の農閑期を利用して使いやすいように工夫をこらしながら一つ一つ編み上げていく技は、親から子へと受け継がれてきた生活の知恵。



雪深い冬の昭和村では今も現役で活躍するかんじき作りや、精緻な編み目が美しいマタタビ細工が受け継がれています。



問合せ先／道の駅 からむし織の里 しょうわ織姫交流館
大沼郡昭和村大字佐倉字上ノ原1
TEL.0241-58-1655 FAX.0241-58-1680

織姫交流館体験メニュー

からむし織体験

■コースター 1,080円(税込)約20分
要予約・金、土、日、祝のみ

からむしワークショップ 【年数回開催】問い合わせ



「R」のある人を、

心を込めて
歓迎する
そんな村です。

今、若者たちの間に「Rターン」が浸透しつつあります。「Rターン」その「R」とは、『Roots(ルーツ)』の「R」。もう一つの「R」は、『Relation(リレーション)＝絆』。「祖父母が住んでいます!」「昭和村に行ったことがある!」「からむしやカスミソウが好き!」など、村に「R」のある人は是非、昭和村に来て、道往くお爺ちゃんやお婆ちゃんに、声を掛けてみて下さい。とても可愛くて天然な笑顔で、温かく迎えてくれることまちがいない!昭和村は、そんな村です。



田舎暮らし体験住宅

古民家を再生し、昭和村で生活体験できる住宅を整備しました。少し長めの滞在で、昭和村の魅力を満喫してみてください。



間取り/和室(10帖)2、囲炉裏付きDK(11帖)、2Fフロアスペース有
設備/風呂、トイレ、システムキッチン(LPG使用)、灯油式給湯器、ガス台、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、電話、FAX
利用期間/1週間以上1年未満 定員/大人10名まで
利用料金/1週間:54,000円(税込)・1ヶ月:75,600円(税込)
※予約状況の確認は、芋麻倶楽部ホームページをご覧ください。

芋麻倶楽部

NPO法人芋麻倶楽部理事長
五十嵐吉彦さん



問合せ先/NPO法人芋麻倶楽部
大沼郡昭和村大字下中津川字中島652
tel & fax.0241-57-2240
http://www.chomachik.jp/
E-mail / apply@chomachik.jp



「昭和村を元気にしたい!」と、NPO法人芋麻倶楽部が平成19年に設立されました。県内屈指の高齢化率の昭和村ですが、村の人々は皆元気で、頭が下がるくらい働き者で、冗談が好きで、いつも笑っています。
現在、芋麻倶楽部は『とつても高齢になつても住み慣れたこの故郷で「健康」に暮らしていきたい地域づくり』を目指し、集落活性化・都市農村交流・コミュニティ・カフェ開催など、数々の事業を展開しています。「田舎暮らし体験住宅」もご利用頂いた皆様から御好評を頂いております。昭和村の事をもっと知りたくなつたら、田舎暮らしがしたくなつたら、村唯一のNPOまで、お気軽にお電話下さい。

ノスタルジックな 木造校舎が あなたと昭和村を繋ぐ



築八十年の 木造校舎

昭和12年に建築された2階建ての木造校舎「旧喰丸小学校」は、平成30年4月に交流・観光拠点施設「喰丸小」として生まれ変わりました。

昭和55年の廃校から、幾度の解体の危機を乗り越えて、喰丸小に思いを寄せる人々の思いと、当時の趣をそのままに、交流・観光の新たな拠点として、村の哲学を次世代に伝える村内外の人々を繋ぐ場所として新たな役目を果たしてまいります。

施設内には、観光関係の事務室があるほか、移住・定住の相談スペースや図書室、音楽室（映画上映設備）各種集会や、展示・イベントの催事など多目的に使える集会室があります。※要事前申込

また、敷地内には、新校舎を改修したカフェが併設されており、2階席からは、ゆったりと周囲の景観を楽しむことができます。



■改修中の喰丸小

可能な限り趣を残すため、使える部材は再利用。傷みの激しかった土台や柱を修復するため、上げ舞と呼ばれる工法により校舎全体を持ち上げ、柱を丁寧に一本一本継ぎました。



©ハーメルン制作委員会

■映画「ハーメルン」

出演：西島秀俊、倍賞千恵子ほか
監督・脚本：坪川拓史
制作・配給（株）トリクスタ
平成25年公開・132分

（あらすじ）

すでに取り壊しが決まった福島県の小さな村にある廃校で、元校長は校舎を修理しつつ一人で生活していました。

ある日、その小学校出身で今は博物館で仕事をしている野田（西島秀俊）が、校舎に残る遺跡出土品の調査のためにかつての母校を訪れます。彼の恩師は、娘（倍賞千恵子）の世話になりながら病院での生活を余儀なくされており……。

シンボルの大銀杏

現在は、校庭の中央に位置する、喰丸小を象徴する樹齢100年を超える大銀杏。かつては校庭の端に位置していましたが、体育館（現存せず）の建設に合わせて校庭が拡張されたことから現在のような配置になったといわれています。

喰丸小を舞台に撮影された映画『ハーメルン』を契機に地元では、大銀杏を囲んで「イチヨウまつり」が開催され、地元の味覚が味わえます。また、秋口は大銀杏のライトアップも行われ、木造校舎や背景の山々と相まって訪れる人々を魅了します。



■秋の喰丸小 ※改修前

敷地内には、2本の銀杏の木（いずれも雌木）があり、不思議と色づくタイミングが異なります。紅葉シーズンには、絶景を写真に収めようと写真愛好家が多く足を運びます。

施設情報

968-0212 大沼郡昭和村大字喰丸字宮前1374
開館時間 午前9時から午後5時
休館日 月曜日・火曜日（祝日の場合は、開館）

問合せ先

（喰丸小の利用申込など）

昭和村 産業建設課 観光交流係
tel.0241-57-2124



●御前ヶ岳ごぜんがけ
(標高1234m)
「登山道3.5km／中級者向・約3時間」
都落ちした高倉宮以仁王を追った妃の紅梅御前と付人の桜木姫が住んでいたという伝説が残る山で、山名もこの伝説に由来。新緑の美しい初夏、ブナ原生林が広がる登山道を登りながら森の息吹を感じる森林浴は格別です。
●登山イベント／5月下旬

豊かな自然へ

風にそよぐ緑のさざなみは生命への讃歌
大地を彩る花々の色彩を巡りながら
心に描く感動の一ページ



●博士山のブナ林はかせやま
(標高1482m)
「登山道は、会津美里町、柳津町側をご利用ください」
大沼郡の最高峰で、山頂からは会津盆地や只見川、越後三山等、360度のパノラマを満喫できます。博士山の名前の由来は侍が太刀を腰にはいて(はかせて)尾根を登ったという言い伝えから、という説があります。



■水芭蕉と しらかばの杜

「遊歩道一周約40分」
博士山(1482m)の麓、国道401号沿いに広がるしらかばの自然林では、幻想的な雰囲気の中、野鳥のさえずりに耳を傾けながら散策が楽しめます。群生する数万株の水芭蕉は4月下旬～5月上旬までが見頃です。

■奥会津昭和の 森キャンプ場

「期間／4月下旬～10月下旬」

広大な敷地を包む森林の静けさと、澄んだ空気にまたたく星空の美しさを楽しめる昭和の森では、人数や用途にあわせてバンガローやケビン、テントサイトなどを利用できます。



●施設概要／バンガロー5棟、ケビン6棟、フリーテントサイト50張、バーベキューハウス3卓、炊事棟2棟、その他
●問合せ先／奥会津昭和の森キャンプ場 tel.0241-57-2700
大沼郡昭和村大字大芦字小矢ノ原



■矢ノ原湿原「遊歩道一周約40分」
 福島県自然環境保全地域指定・村指定天然記念物
 矢の原沼を中心にした高層・低層湿原で形成される矢ノ原湿原には、約280種類の植物が群生し、多くの野鳥や稀少なハッチョウトンボや絶滅危惧種のマダラナニワトコなども棲息しています。整備された遊歩道からは、春から夏にかけて群生する水芭蕉や水面に咲くヒツジグサなどの眺めも楽しめるほか、秋の紅葉も美しく10月中旬頃に最も見頃を迎えます。



湿原の植物

◆ヌマガヤ(紅葉)
見頃/10月
見所/駒止湿原

◆ニッコウキスゲ
見頃/6月下旬～7月下旬
見所/駒止湿原

◆ワタスゲ
見頃/6月中旬～7月中旬
見所/駒止・矢ノ原湿原



◆桜・山桜 見頃・4月下旬/見所・大芦地区
集落北端の丘陵地に咲くオオヤマザクラをはじめ山に自生する山桜など、薄紅色が昭和村を春色に染めます。

◆紅葉
見頃・10月/見所・玉川溪谷、綱木溪谷
赤や黄色に紅葉した木々の姿を清流にうつす溪谷は、昭和の秋を満喫したい方必見の絶景スポットです。

◆ヒツジグサ
見頃/6月～9月
見所/矢ノ原湿原

◆ヒオウギアヤメ
見頃/6月上旬～7月上旬
見所/駒止湿原

◆ミツガシワ
見頃/5月上旬～5月下旬
見所/駒止・矢ノ原湿原



◆フクジュソウ
見頃・4月初旬
見所・気多湖地区
雪解けのすすむ日当たりの良い南向きの斜面に、陽光を集めたような黄色い花が群生して咲きます。



◆ミズバショウ
見頃/4月下旬～5月下旬
見所/駒止・矢ノ原湿原
水芭蕉としらかばの杜

駒止湿原「遊歩道一周約3時間」 (国指定天然記念物)

標高1100mの高原にあり、天空の湿原とも称される駒止湿原は、ブナ原生林に囲まれた大谷地、白樺谷地、水無谷地の低層から高層にいたる3つの湿原で形成されています。生育環境の異なる471種類の植物を観察することができ、湿原一帯を彩る初夏のワタスゲやニッコウキスゲ、秋の紅葉色に紅葉したヌマガヤの群落はみごとです。

案内人 矢ノ原湿原案内の会 東原源伯さん



「矢ノ原湿原案内の会」では、矢ノ原湿原をもっとよく知りたいというお客様に応じ、案内ガイドをしています。小学生から年配の方々まで、幅広い年齢層に対応した案内が可能です。

標高660mにある矢ノ原湿原は、280種の多彩な植物と野鳥や昆虫の宝庫で、地下水の湧出が豊富です。中でも、トンボは多くの種類が確認されており、研究家の間では、日本有数のトンボの宝庫と云われています。

植物は、水芭蕉やワタスゲ、ニッコウキスゲなど鮮やかに群生する花も魅力ですが、様々な種類のミズゴケや、可憐に咲くヒツジグサ、純白の花を咲かせるサギソウなども魅力です。

村道からすぐ近くに位置し、手軽に足を踏み入れることができる矢ノ原湿原ですが、その手軽さからは考えられないほどの、多くの魅力を秘めた矢ノ原湿原にふれ、この貴重な自然環境について興味をもってもらえればと願っています。

【矢ノ原湿原ガイド】

一週間前までに電話で連絡の上、FAXで申込み。※団体は7～8名に対しガイド1人が基本。

●問合せ先/矢ノ原湿原案内の会
大沼郡昭和村大字小中津川字獅子伏628
tel.0241-57-2180 fax.0241-57-2180

百年先もカスミソウを 作り続ける村でありたい。

赤ちゃんの吐息という別名をもつ「宿根カスミソウ」。

ここ昭和村は夏秋期の生産量が日本一の村。

これまでも、これからもそれが産地のプライド。

カスミソウとは？

地中海沿岸を原産とするカスミソウは、そよ風が育てるとも言われ夏季冷涼な気候を好んで生育します。昭和村では、およそ30年前から昼夜の寒暖の差を活かして栽培が盛んになりました。夏でも涼しい環境はそよ風を運び、初夏から晩秋にかけて「満点の星」を思わせる無数の花を咲かせます。

手厚い就農支援

また、新規就農も盛んで、毎年ターニンでの就農者が増えています。加えて、栽培農家高齢化が進む現状を踏まえ、インターンシップ形式での研修生の受け入れも行っています。就農後の支援策も充実しており、人気の就農地でもあります。



■矢ノ原高原

標高約700mの矢ノ原高原は、カスミソウの優良ほ場で、多くの生産者のビニールハウスが並びます。



■雪室

大型ダンプおよそ300台分の雪を春先に搬入し、予冷库の空気を冷却しています。

徹底した鮮度維持

特別豪雪地帯である本村は、その雪を利用して「農林水産物集出荷施設『通称…雪室』」により、出荷されるまでの間、カスミソウを予冷します。また、輸送時も鮮度を落とさないよう湿式縦箱出荷（現在はELFバケットシステム）を全国的にも早期に導入し市場までの運搬も保冷車を用いるなど、徹底した鮮度維持・品質管理を行っています。

◆カスミソウ

地中海沿岸が原産の宿根カスミソウは、夏でも涼しいそよ風の吹く昭和村の特産品。夏秋期全国一位の出荷量を誇ります。矢ノ原高原を中心に夏から秋にかけて全国に出荷されています。近年は染色したカスミソウのバリエーションも増えています。



(新規就農に関すること)

昭和村 産業建設課 産業係
tel.0241-57-2117

(生産団体)

JA会津よつばかすみ草部会
tel.0241-57-3111

問合せ先



◆黒じゅうねんどレッシング
αリノレン酸を多く含んだ「じゅうねん(えごま)」の風味が引き立つ
まろやかなドレッシング。



◆原木しいたけ
天然木を利用した無農薬栽培のしいたけは甘み、食感、香りがひと味違います。



◆えごま油
αリノレン酸を豊富に含み、昭和村産のえごまの実を搾った風味豊かな純粋100%のえごま油。



◆山菜加工品
昭和村の自然が育んだ、ワラビ、ゼンマイ、フキ、ウド、キノコなどの山菜各種。



◆Kinza(きんざ)
昭和村の「ひとめぼれ」を使った日本酒で、数量限定生産。口当たりよく、少し甘めでのど越しすっきり。ブルーティーさは抑えて飲み飽きせず、楽しめるお酒です。



◆奥会津昭和からむしの里
会津の大地が育んだお米と伏流水から蔵人が心を込めて仕込みました。昭和村限定販売のお酒です。



◆越冬じやがいも羊羹
抱雪(ほうせつ)
じやがいもの味を生かし、100%じやがいもで作ったじやがいも羊羹。上品な甘さと、新食感をおたのしみいただけます。



◆いわしろのチーズケーキ
どっしりしたチーズの風味と控えめの甘さが絶妙なベイクドチーズケーキ。
※2日前まで要予約注文
TEL 0241-571-2944



◆Cafeまつやのじゅうねん大福
自家栽培のじゅうねんを使用し、オリジナルの手作り和菓子。



◆基ハ羊羹
国産の大豆を丹念に煮込み、砂糖と寒天のみを加えて仕上げる。昔ながらの無添加手作り製法。



◆昭和村産米
豊かな水に恵まれた昭和村の大地で、生産農家の努力が実ったおいしいお米。



◆凍みもち
厳しい冬の寒さを利用して作る地域の味。香ばしく揚げた塩・しょうゆ味付のほか、自分好みにつくれる素生地もあります。



◆やみつき甘くろミ
しらかば莊料理長秘伝のレシピの「甘くろミ」。お客様からの絶大な人気で商品化されました。味は、プレーンとじゅうねんの2種類。じゅうねん(えごま)味は香ばしく、まさにやみつきに。



◆えごまの葉みそ他
昭和村産のえごまの葉をたっぷり使用した香り豊かな味噌など。

食 る

Cafe & Dinning

自然豊かな昭和村には
山の恵み、里の幸がいっぱい
見た目は少し素朴でも
「本物」の美味しさが
つまっています



大沼郡昭和村大字佐倉字上ノ原1
tel.0241-58-1455
定休日/不定休
営業時間/11:00~15:00 (LO14:30)
席数46 駐車場6台
(道の駅からむし織の里しょうわ56台)



山菜や川魚、地元野菜を使って作る郷土食は、彩りも豊かな懐かしい味わい(冬期間 要予約)。ばんでい餅(1本200円)などの単品メニューも。

ちよ ま あん 郷土食伝承館 芋麻庵

「道の駅からむし織の里しょうわ」内にある食事処「芋麻庵」では、季節の地元産食材を中心に村のお母さんたちが腕をふるった手作りの郷土料理が並びます。おすすめは、清流に棲むアカハラ(ハヤ)の唐揚げや村の保存食である凍み大根の煮物、野菜たっぷりの「ざく汁」などを味わえる『芋麻膳』。そぼろ好きの方なら、矢ノ原産十割手打ちそばと旬の山菜・野菜天ぷらが味わえる『せいろそば天ぷらセット』を。漬け物も真心こもった村の味です。

工房 toarucafe



「心と体に優しい元気になる食べ物」を是非お召し上がり下さい。



大沼郡昭和村
大字喰丸字三島1071
定休日/月~金曜日
席数15 駐車場3台
Email: toarucafe@gmail.com

2011年10月にオープンしました。レトロな雰囲気の内、オーガニックの素材にこだわったお菓子、種類の豊富な飲み物がいただけます。店内では、手づくりのからむし織製品などの販売も。

いわしろ



国内産小麦を手打ちして一晩寝かせたうどんは噛むほどに味わい深く、モチモチの弾力とコシの強さが魅力です。



大沼郡昭和村
大字喰丸字三島1001-3
tel.0241-57-2944
定休日/不定休
営業時間/10:30~14:30
※11~3月は11:30オープン
席数20 駐車場5台

店長の羽染さんは元寿司職人という経歴の持ち主。トレーディングの鉢巻き姿で、おすすめる店の自慢は手打ちそば＆うどん。地元矢ノ原高産そば粉を使用した十割そばの、風味とのごしは味自慢のダシ汁と相性抜群。

おお あし や ファーマーズカフェ 大芦家



写真は矢ノ原高原そばを手打ちした「高遠そば」です。メニューはほかに餅・ばんでえ餅・うどんなど。



大沼郡昭和村
大字大芦字中組1854
tel.090-7664-7354
定休日・火曜日
営業時間／10:00～17:00
席数17／駐車場5台

2010年10月昭和村にカフェがオープンしました。店長は役場を早期退職した佐藤さん「楽しみながら人生を送りたい」とカフェを始められたそうです。農作業小屋だった建物を改装して素敵なカフェにしてみました。
毎朝、佐藤さんが打つ矢ノ原高原そばがお勧めです。奥さんの手作りケーキも絶品。また年に数回「アマチュアバンドのコンサート」も開催しています。

里山カフェ 星のやど



大沼郡昭和村
大字下中津川字上平5254
tel.080-3322-4567
定休日／水～土
営業時間／11:00～15:00
(臨時休業の場合ありますので、事前にお問い合わせください。)
席数10 駐車場あり

2015年11月にオープンした古民家を再生した珈琲ショップです。こだわりの珈琲のほか、放し飼いの鶏の卵からつくるプリンや地元産のじゅうねんぼたもちも好評で、店内ではからむしの着物も販売しています。
店内からは四季折々の周囲の景観が楽しめます。

村の駅 味 楽



さつぱり田舎ラーメンがワンコイン(500円)です。メニューはほかに、特製味噌ラーメンやピリ辛みそラーメンなど。
でっけー田舎おにぎりは200円



大沼郡昭和村
大字下中津川字吉396-1
tel.0241-57-2006
定休日／毎週木曜日
営業時間／10:00～17:00
席数10 駐車場5台

でっけーおにぎりやさつぱり田舎ラーメンのお店。おにぎりのでっかさはいつまでのお楽しみ。場所は国道400号沿いで大きな看板と赤いれんが目印。
店内では昭和村限定の越冬じゃがいも羊羹抱雪(ほうせつ)もお土産用に販売されています。

やまか食堂



自家製米のあつあつご飯に、シャキシャキの千切りキャベツ。主役のカツは薄めの衣が豚肉のうま味を引き立てて、女性や年配客にも人気です。



大沼郡昭和村
大字下中津川字中島1618
tel.0241-57-2167
営業時間・10:30～18:30
定休日・不定休
※やまか食堂Twitterで確認できます
席数15／駐車場あり

創業50年以上、地域に愛されてきた店の味はどれも折り紙付き。料理の腕を振るう齋藤さんのオススめは、注文を受けてからブロックを切り出す、国産豚ロース肉の「カツ丼」。甘辛オリジナルブレンドの「ソースカツ丼」と「煮込みカツ丼」の2種類で、カラッと香ばしいカツは驚くほど柔らかでジューシー。手打ち自家製ちぢれ麺にたっぷりの野菜と七味がピリっときいた「野菜あんかけラーメン」は絶品の美味しさです。

すこら 蕎麦カフェ SCHOLA



生そばの地方発送やお持ち帰りもできます。(要予約)



大沼郡昭和村
大字喰丸字宮前1374
tel.080-6657-3381
定休日／日曜日・月曜日
(臨時休業の場合ありますので、事前にお問い合わせください。)
営業時間／11:00～15:30
(LO 15:00)
席数26 駐車場5台

旧喰丸小学校の新校舎を改装した蕎麦カフェ。元教室の面影を残しながら、店主自慢の地元矢ノ原高原産のそばを使った十割手打ちそばや、季節の野菜を楽しめるモチモチ触感のそばガレットが楽しめます。ドリンクの種類も豊富で、テイクアウトも可。
2階のカウンター席から校庭の大イチョウや村の田園風景を眺めてゆったりとした時間を過ごすこともできます。

cafe まつや



オリジナルの「昭和ナポリ」は太麺でほんのりバジルが香る。

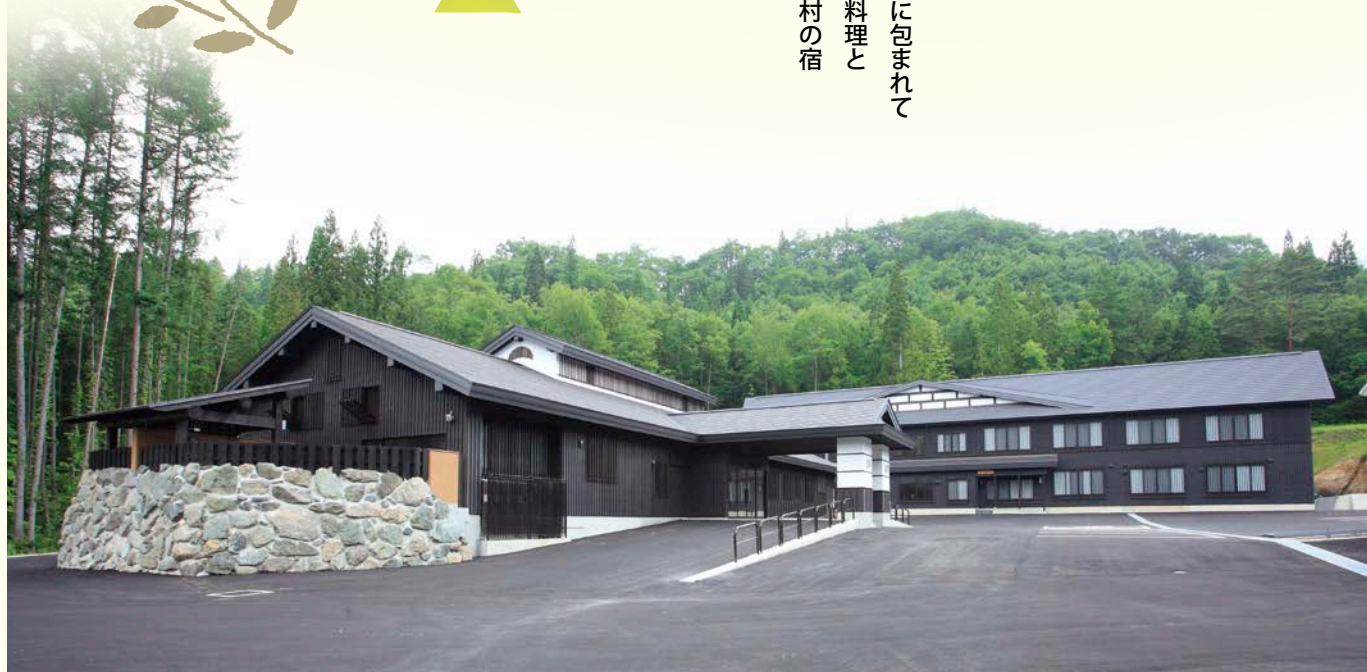


大沼郡昭和村大
字両原字天狗屋敷537
tel.0241-57-2283
定休日／不定休
営業時間／11:00～15:00
夜間は予約営業
席数15 駐車場10台

2014年8月に新規オープン、母屋では民宿松屋を営業する珍しいカフェ。
おすすめは、オリジナルピザとナポリタン、昭和村特産のじゅうねんを使った大福とシフォンケーキもオリジナル。ピザはテイクアウト可、じゅうねん大福はお土産用に販売も。



懐かしい雰囲気にもまれて
心づくしの田舎料理と
笑顔がもてなす村の宿



大沼郡昭和村大字野尻字廻り戸1178 tel.0241-57-2585
泉質／慢性的皮膚病・消化器病等によく効くナトリウム塩化物泉
料金／1泊2食付 8,600円～ 日帰り入浴500円(9:00～20:00)
部屋数／和室12.5畳×6室、25畳×1室、
特別和室1室、洋室(ツイン)1室、特別洋室1室 計10室
収容人数／50名 チェックイン15:00 アウト10:00
駐車場40台 大型バス2台
レストランしらかば／営:11:00～14:00(LO13:30) 席:35 休:不定休
URL:<http://karamushi.co.jp/shirakabasou/>



村内唯一の温泉宿泊施設。料理は川魚や山菜、野菜を中心に、宿泊者にあわせた献立。レストランもあり、日帰り入浴が可能です。

昭和温泉 しらかば荘

古民家ゲストハウス とある宿



昔、神社の宮司さんが住まわっていた古民家を宿として使っています。宿の中心には太い大黒柱があり、冬には囲炉裏に火がとまります。



大沼郡昭和村大字小中津川字宮原1044
tel.0241-57-3131
料金／1泊2食付 5,000円～
食事は宿主との共同調理となります。
(体験費等別途)
部屋数／和室6畳×2室
収容人数／9名

ペンション ファミリーイン美女峠

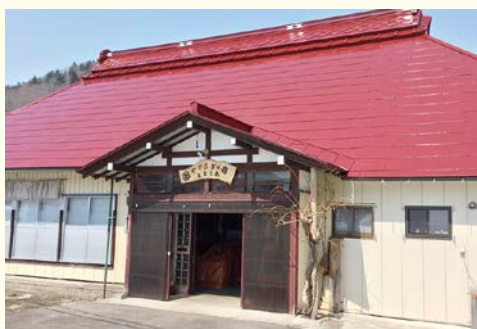


江戸後期の建物を移築再生した宿。米や卵は自家製、囲炉裏の炭火で焼いたイワナの塩焼や、女将自慢のオリジナル料理が味わえます。



大沼郡昭和村大字野尻字東2
tel.0241-57-2870
料金／1泊2食付 7,560円～
部屋数／和6畳×3室、洋6畳×1室
収容人数／11名※1名から宿泊可
チェックイン15:00 アウト9:30
駐車場10台

農家民宿 やすらぎの宿 とまり木



自然と共に暮らしてきた村のお母さんが運営する宿。多様な穀類や野菜等もすべて自家製。旬の山の幸を使った郷土料理作り体験がおすすめ。



大沼郡昭和村大字大芦字大向4478
tel.0241-57-3110
料金／1泊2食付 6,800円～
食事は宿主との共同調理となります。
(体験費等別途)
部屋数／和室15畳×2室
収容人数／6名

民 宿 松 屋

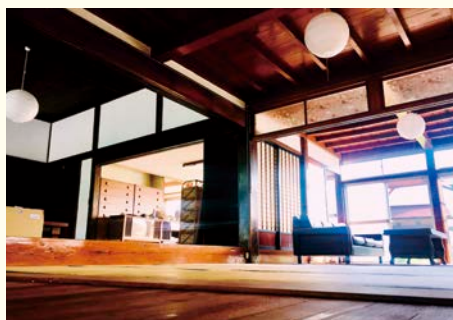


平成6年に客室を増築。母屋は築100年を越す古民家。米・野菜は自家製。手作り生地の季節野菜ピザや手打ちそばは人気の一品(要予約)。



大沼郡昭和村大字両原字天狗屋敷537
tel.0241-57-2283
料金／1泊2食付 7,560円～
部屋数／和12畳・和8畳×各1室・和6畳×2室、
収容人数／17名
チェックイン・アウトは相談対応可
駐車場10台

シェア ベース 昭和村



「皆で共有できる秘密基地へ」をコンセプトにした、築150年を越える古民家再生のゲストハウス。旅や研修、制作活動の拠点、田舎暮らし体験など、複数の滞在者が自由に過ごすことができます。



大沼郡昭和村大字野尻字元町4488
tel.050-3695-3106
料金／素泊まり 5,000円/人(税込)
※冬期間暖房費別途500円(貸出品等別途)
食事は、食材持込の自炊となります。
部屋数／和8畳×3室、1棟貸切可
収容人数／15名
チェックイン・アウトは相談対応可
URL:<https://web.satoru-co.jp/>

旅 館 昭 和 館



昭和23年創業。自家製の季節野菜・米・山菜を食材にした、女将手作りの天ぷらや煮物、和え物、茶碗蒸し等の田舎料理が自慢。



大沼郡昭和村大字小中津川字宮原1047
tel.0241-57-2230
料金／1泊2食付 7,560円
部屋数／和8畳×2室、和6畳×6室・大広間／54畳
収容人数／20名 宿泊可(応相談)
チェックイン15:00 アウト10:00
駐車場20台

昭和村MAP

フोटスポット



●雲海(昭和の森・喰丸峠)

晩秋の夜空が満点の星をたたえ、翌早朝は放射冷却現象で村が霧に包まれます。喰丸峠に登れば見事な雲海が撮影できます。



●藤八の滝

川幅いっぱい豊富な水が落下する林の中のダイナミックな滝。



●春日神社さいかちの木

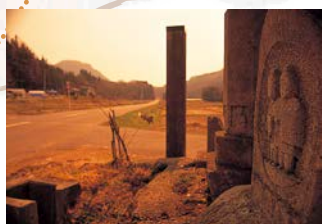
中向春日神社境内にある村の天然記念物。樹齢300年。



●正法寺かしわの木

下中津川正法寺の境内にある村の天然記念物。樹齢350年

神社・仏閣・歴史



●双体道祖神

道祖神は境を守り悪霊の侵入を防ぐ神。しかし時代が進むにつれ行路の神、旅の安全、出産、幼児加護、縁結び、夫婦円満の神としての性格をもつようになったと言われています。



●戊辰の役古戦場

大芦・矢の原の戦いの跡。皮肉なことにこの戦いは、鶴ヶ城落城後のことでした。会津藩士、野村新平の墓があります。



●小中津川気多神社

近年改修工事を終えたばかりの舞台を擁し、コケラ落としに檜枝岐歌舞伎が上演された文化財でもあります。



●佐倉観音寺

元和2年(1616)年創建。御蔵入三十三観音の七番札所としてよく知られています。平成28年度日本遺産に認定。



昭和村のマスコット
からむんデス

- 駒止湿原
- 矢ノ原(湿原・そば畑)
- 玉川溪谷
- 綱木溪谷
- 水芭蕉としらかばの杜
- 双体道祖神
- 舟鼻峠
- 蛍・星空



金山町

三島町

只見町

南会津町



4月

- 上旬／
からむし工芸博物館企画展
毎年テーマを決めて開催します。
- 下旬／
奥会津昭和の森
キャンプ場オープン

5月

- 下旬／
●博士山水芭蕉まつり
小野川地区「水芭蕉としらかばの杜」で
開催されるお祭りです。散策も楽しめます。
- 下旬／
御前ヶ岳登山
登山道はブナ原生林が広がる中級者向けの
山です。

6月

- 上旬／
からむし市
冬の間の手仕事を展示販売します。
掘り出し物が見つかるかも。

7月

- 下旬／
からむし織の里フェア
昭和村夏の一大イベント。からむし織体験、
着物ショーをはじめ楽しい催しで盛り上がり
ます。

9月

- 上旬～
からむし工芸博物館企画展
からむしをもっと深く知ってもらおうと、
歴史等さまざまな角度から光をあてて
展示解説します。

10月

- 中旬～
喰丸小大銀杏ライトアップ
樹齢110年を超える、シンボルツリー
大銀杏のライトアップ。
幻想的に浮かび上がる姿をご堪能ください。

2月

- 下旬／
からむし織の里雪まつり
寒い冬も今日ばかりは熱気に包まれます。
からむし織の雪ざらし美演や芸能祭り等を
白い雪の世界で楽しめます。

至金山町

至三島町

志津倉山
1203m

寺の下清水

美女峠

二階の清水

地区の農家の人々が、雪刈り
など山仕事の合間や昼食時に
冷たい清水で喉を潤し休息し
たという。

高館山
848m

矢ノ原高原の伏流水で集落
の飲料水。約3キロ山奥に
ある岩の割れ目から豊富に
湧き出しており、田ノ口沢
の源流になっている。

矢ノ原清水

下平運動公園

しらかば会館

昭和温泉しらかば荘

里山カフェ
星のやど

フクジュソウ

開熊野神社

昭和村役場

からむし会館

やまか食堂

すみれ荘

昭和小

村の駅 味楽

道の駅
からむし織の里
しょうわ

小中津川

気多神社

とある宿

学麻庵

佐倉観音寺

喰丸

喰丸小 toarucafe

双体道祖神

野尻川

いわしろ

奥会津昭和の森
キャンプ場

雲海

赤坂山

とまり木

ファーマーズカフェ 大芦家

官軍戦士九人の墓

天狗の冷泉

天狗山とも称された
山頂には300年
程前に豪族が築い
た館跡が残る。伊達
軍と戦った古戦場
で、泉は「神泉」と呼
ばれていた。

玉川

源兵衛清水

その昔、姥石山付近に老母を捨てなくて
はならなかった源兵衛の悲しみが清水
となって湧き出したと伝えられている。

佐藤音之助の墓

加賀藩小杉半蔵の墓

大芦

桜・山桜

玉川渓谷

臥牛岩

石城山

新島居峠

とうばち
藤八の滝

ひゃっこ
れいせん

冷湖の霊泉

卵池

こまど
駒止湿原

湿原植物

戊辰の役古戦場

会津藩
野村新平の墓

会津藩戦死
二人の墓

とまり木

会津藩戦死
二人の墓

雲海

赤坂山

とまり木

ファーマーズカフェ 大芦家

官軍戦士九人の墓

天狗の冷泉

天狗山とも称された
山頂には300年
程前に豪族が築い
た館跡が残る。伊達
軍と戦った古戦場
で、泉は「神泉」と呼
ばれていた。

玉川

源兵衛清水

その昔、姥石山付近に老母を捨てなくて
はならなかった源兵衛の悲しみが清水
となって湧き出したと伝えられている。

佐藤音之助の墓

加賀藩小杉半蔵の墓

大芦

桜・山桜

玉川渓谷

臥牛岩

石城山

新島居峠

とうばち
藤八の滝

ひゃっこ
れいせん

冷湖の霊泉

卵池

こまど
駒止湿原

湿原植物

至南会津町(旧南郷村)

冬期通行止

401

ひゃっこ
れいせん

冷湖の霊泉

卵池

こまど
駒止湿原

湿原植物

至南会津町(旧田島町)

電車(JR・東武線)バス利用

- 東京=(東北新幹線・1時間20分)=郡山(磐越西線・1時間5分[快速])=会津若松(只見線・1時間56分)=会津川口(会津バス・約35分)=昭和村
- 東京=(上越新幹線・1時間40分)=浦佐[小出](只見線1時間57分)=会津川口(会津バス・約35分)=昭和村
- 浅草(東武線・会津鬼怒川線・会津線・3時間30分)=会津田島(委託バス[冬期運休]50分)=昭和村
- 浅草(東武鉄道「リパティ会津」・3時間10分)=会津田島(委託バス[冬期運休]50分)=昭和村

マイカー利用

- 東京=(東北自動車道・160km)=西那須野塩原I.C.(国道121号=400号・50km)=南会津町(国道400号・20km)=昭和村
- 東京=(東北自動車道・160km)=西那須野塩原I.C.(国道121号=400号・50km)=南会津町(国道121号・12km)=下郷町(32km)=昭和村
- 東京=(東北自動車道・190km)=白河I.C.(国道289号・30km)=下郷町(32km)=昭和村
- 東京=(東北自動車道・237km)=郡山JCT(磐越自動車道・60km)=会津坂下I.C.(国道252号線・只見町方面へ35km=400号・20km)=昭和村
- 東京=(関越自動車道・258km)=小出I.C.(国道252号・85km[冬期通行止])=金山町(国道400号・20km)=昭和村
- 新潟=(磐越自動車道・71km)=会津坂下I.C.(国道252号線・只見町方面へ35km=400号・20km)=昭和村
- 会津若松=(国道401号・10km)=会津美里町(国道401号・39km[冬期通行止])=昭和村

■一般社団法人昭和村観光協会

〒968-0212

福島県大沼郡昭和村大字喰丸字宮前1374

TEL 0241-57-3700/FAX 0241-57-3701

<http://showavill.info>



■昭和村役場産業建設課 観光交流係

〒968-0212

福島県大沼郡昭和村大字喰丸字宮前1374

TEL 0241-57-2124/FAX 0241-42-7322

<http://www.vill.showa.fukushima.jp/>

■昭和村役場

〒968-0103

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

TEL 0241-57-2111/FAX 0241-57-3044

